



お味はいかが？



調理の様子

乳児栄養教室

2月26日、保健センターで乳児栄養教室が開催され、11組の親子が参加しました。

市では、生後5ヵ月～7ヵ月ごろのお子さんと保護者を対象に離乳食の作り方や与え方などを知ってもらうため、年4回この教室を開催しています。市の栄養士から「初期の離乳食は栄養源ではなく、食事をする時間を覚えさせるためのもの。子どもが好むものを食べさせてあげましょう」との説明を受けた後、お母さん用のご飯から食材を少し取り分けて、おかゆなどの離乳食を調理。お母さんが作ってくれた離乳食を夢中で食べる姿が見られました。

外国語指導助手（ALT）と 楽しく交流

3月2日、ALTのランディ・エドワーズさんがほしのご児童クラブを訪問しました。

これは、子どもたちに外国の言葉や文化に親しみを持ってもらうため、ほしのご児童クラブが今年度から始めたもので、週2～3回ALTが訪問し、さまざまな交流をしています。

この日は、小学校1・2年生の子どもたちがあやとりや読書などでALTと楽しそうにふれあう様子が見られました。



笑顔でポーズ

伊達まちカードを申し込む利用者の方々



「伊達まちカード」 3月15日に利用スタート

3月15日、市観光物産館窓口に「伊達まちカード」を申し込むために多くの方が訪れました。

このカードは、地域経済の活性化や健康促進のために作られたもので、市観光物産館での買い物や総合体育館・温水プールの利用、健診などを受けると利用料に応じてポイントが貯まり、貯まったポイントは市観光物産館などで使うことができます。

利用が始まったこの日は、早速会計時にカードを提示する利用者の姿も見られました。

相手のことを考え、思いやりのある行動を 達南中学校「性の講話会」

3月7日、達南中学校で3年生を対象にした「性の講話会」が行われ、16人が参加しました。

いぶり腎泌尿器科クリニックの仲山明宏さんと市の保健師を講師に迎え、1時間目は男女が別々の教室でそれぞれの体の特徴などについて学習。2時間目は、男女の交際をテーマに「本能をコントロールして、相手に押しつけないことが大切」との説明を受け、生徒からは「今日のことを忘れず、正しい関係を築きたい」との声が聞かれました。



真剣に耳を傾けています

雛壇に並ぶ人形を数える子どもたち



開拓記念館のおひなさま

3月3日、市開拓記念館に、伊達幼稚園の子どもたちが訪れました。

毎年、この日は「ひな祭り」に合わせて無料開放していて、甘酒も振る舞われています。

来館した子どもたちは、雛人形の他にも展示してある刀や甲冑などを興味深げに眺め「戦うときに着るものだね」と声をあげていました。

最後に、年代や大きさの違うたくさんの雛人形をみんなで数えて楽しんでいました。



国道453号蟠溪道路の一部開通

2月27日、大滝区で国道453号蟠溪道路の一部開通の式典が執り行われ、堀衆議院議員を始め伊達市長など31人が出席しました。

蟠溪道路は、道幅が狭く急カーブが連続していて、100ミリ以上の降雨や土砂崩落などの危険があるときは規制されていましたが、平成13年に事業化され、14年間かけて一部工事が終了。

今回、片方に歩道が備えられ安全に通行できる道路として、全区間5.4kmのうちの2.5kmが開通しました。

市長からは「胆振西部と札幌圏などを結ぶ経済や観光の振興に重要な道路。早期の全線開通を願いたい」と挨拶がありました。



雪が降る中でのテープカット



渡り初め